

情報通信審議会 情報通信技術分科会（第111回）議事概要

1 日時 平成27年7月17日（金） 16時00分～17時41分

2 場所 総務省 第1特別会議室（8階）

3 出席者

（1）委員（敬称略）

伊東 晋（分科会長）、鈴木 陽一（分科会長代理）、相澤 彰子、相田 仁、
青木 玲子、石戸 奈々子、近藤 則子、三瓶 政一、根本 香絵、
前田 香織、水嶋 繁光、森川 博之（以上12名）

（2）専門委員（敬称略）

伊丹 誠、多氣 昌生（以上2名）

（3）オブザーバー（敬称略）

南方 真人（トヨタ自動車株式会社 技術統括部 主幹）（以上1名）

（4）総務省

（情報通信国際戦略局）

武井 俊幸（総括審議官）、巻口 英司（参事官）、
野崎 雅稔（技術政策課長）

（情報流通行政局）

渡辺 克也（官房審議官）、椿 泰文（総務課長）、
久恒 達宏（放送技術課長）

（総合通信基盤局）

吉良 裕臣（総合通信基盤局長）、富永 昌彦（電波部長）、
高橋 文昭（総務課長）、田原 康生（電波政策課長）、
杉野 勲（電波環境課長）、澤邊 正彦（電波利用環境専門官）

（5）事務局

蒲生 孝（情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室長）

4 議 題

(1) 答申事項

- ① 「国際無線障害特別委員会（C I S P R）の諸規格について」のうち「ワイヤレス電力伝送システムに関する技術的条件」のうち「電気自動車用ワイヤレス電力伝送システムに関する技術的条件」について

【昭和 63 年 9 月 26 日付け電気通信技術審議会諮問第 3 号】

【内容】

本件は、無線技術を利用して家電機器や電気自動車などへの給電を可能とするワイヤレス電力伝送システムのうち、電気自動車への大電力の給電を目的としたシステムについて、他の無線機器等との周波数共用や人体防護が確保できる許容値及び測定法並びに人体安全性の評価方法について検討したもの。

審議の結果、電波利用環境委員会から報告があったとおり、技術的条件について了承し、一部答申することとした。

- ② 「携帯電話端末等に対する比吸収率の測定方法」のうち「人体側頭部に近接して使用する無線機器等に対する比吸収率の測定方法」について

【平成 12 年 5 月 22 日付け電気通信技術審議会諮問第 118 号】

【内容】

本件は、人体側頭部に近接して使用する無線機器等に対する比吸収率の測定方法について、電波利用の拡大や関係する国際規格の改定に関する議論の進展を受けて、平成 18 年に答申した現行の測定方法の改定について検討したもの。

審議の結果、電波利用環境委員会から報告があったとおり、測定方法について了承し、一部答申することとした。

- ③ 「放送システムに関する技術的条件」のうち「ラジオネットワークの強靱化に関する技術的条件」について

【平成 18 年 9 月 28 日付け諮問第 2023 号】

【内容】

本件は、①既存の V H F 帯音声継用回線をデジタル化し、ステレオ音声の中継を可能とするための技術的条件と、②ラジオ放送の極小の難聴地域を小電力の中継局で解消するギャップフィルターの技術的条件を検討したもの。

審議の結果、放送システム委員会から報告があったとおり、技術的条件について了承し、一部答申することとした。

(2) 報告事項

「新たな情報通信技術戦略の在り方」に対する中間報告書について

【平成 26 年 12 月 18 日付け諮問第 22 号】

【内容】

本件は、今後 5 年間の戦略として、世界最先端の I C T により、社会システムの効率化・最適化等の新たな価値創造を目指すため、国や N I C T 等が取り組むべき重点研究開発分野を取りまとめたもの。具体的には、① 社会を見守る超高性能のセンシング基盤、② 膨大な情報を超高速に伝送する統合ネットワーク基盤、③ ビッグデータ解析等のデータ利活用基盤等の分野について、研究開発課題やその推進方策について取りまとめた。

審議の結果、技術戦略委員会からの中間報告を了承し、総会において、中間答申案として提案することとした。

本会議にて配付された資料をご覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますのでご覧ください。

また、総務省において、閲覧及び貸し出しを実施しておりますので、下記までご連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報通信国際戦略局 管理室 調整係 横溝、水本

電 話：03-5253-5957

F A X：03-5253-5945

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策をしているため、/●/を@に置き換えてください。